

第5回 徳島県鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議 会議録

I. 日 時 : 令和4年3月29日(火) 午前10時00分から午前11時00分まで

II. 場 所 : 県庁10階大会議室

III. 出席委員 :

美馬会長、十川委員、須崎委員、横田委員、南委員、大西委員、白石委員、龍田委員、中尾委員、小川委員、赤尾委員、谷委員、小笠委員、木下委員、西上委員

IV. 次 第 :

1. 開会

2. 知事あいさつ

3. 議事

(1) 鳴門総合運動公園野球場整備基本計画(案)について(資料1)

(2) 質疑応答

4. 閉会

V. 配付資料等 :

1. 【資料1】徳島県鳴門総合運動公園野球場整備基本計画(案)

2. 地方球場に設置されている観客スタンドの屋根、次第、委員名簿

VI. 会 議 録 :

【会長】

それでは第5回検討会議を開催したいと思います。前回の会議では事務局より基本計画・素案が示され、その後、県民の皆様のご意見を伺うパブリックコメントが実施されました。今回の会議は、オロナミンC球場の整備に向けた基本計画をいよいよとりまとめる会議となると思います。本日は、飯泉知事にご出席いただいておりますので、一言、ご挨拶をお願いしたいと思います。

【知事】

美馬会長を始め皆様方にはこれまで今日を入れると5回の会議と、現地視察を行っていただいたところであります。精力的にご検討いただいておりますことをこの場をお借りしまして厚く御礼を申し上げたいと存じます。本当にありがとうございます。さて、野球とすることになりますと、既にオリンピックイヤーが過ぎ去ったところではありますが、昨年につきましては、東京オリンピックでは野球が久方ぶりに公式競技に戻りました。そして、日本が金メダルを獲得しました。さらには、杉本裕太郎選手が本県出身としては48年ぶりにパ・リーグ本塁打王に輝き、またオリックスバファローズを優勝に導くということで野球については多くの話題、また高校野球四国秋季大会におきましては鳴門高校が準優勝となり、そして現在、行われている選抜高校野球に出場する久方ぶりの徳島代表となっ

たところであります。また、大会屈指の好カードということで、大阪桐蔭高校と当たると、しかも大阪桐蔭高校の皆様方は優勝候補であったわけではありますが、あまりの鳴門高校の強さに驚かれたという話も聞いております。また、つい先般の試合は逆に17対0で勝利したこともあり、そうした点を考えますと事実上の決勝戦ではないか、このように今言われているところでもあります。野球一色の日本となっているところでもあります。そこで、やはりNPBのナイターを含め公式戦を見れなくなってから久しくなるところであります。老朽化が著しくなっている鳴門のオロナミンC球場をどういう形に持っていくべきかということで皆様方に精力的にご検討いただきてきたところでもあります。さらには、県議会におきましても、積極的なご提言をいただいているところでもあります。ただいま、美馬会長からも今日とりまとめようというお話をいただいたところでもあります。既に基本計画（案）を作らせていただいております、これをしっかりと皆様方に精査していただく、またパブリックコメントも既に行わせていただいているところでもあります。我々としては、この基本計画（案）の案を取って、最終的には基本設計へと移っていく、そしてなるべく早期にこの基本設計を具現化をしていきたいと思います。そして、野球は、特に徳島の場合には、全国的にいえば例えば高校生の世代においてはサッカーの方が実は人気が高いんですね。しかし、徳島は野球の方が人気が高いということもあわせて、多くの皆様方に野球を目の前で、しかも日本でトップクラスの、出来れば世界的な試合も見ていただくことができるとも考えておりますので、今日の取りまとめ方、是非精力的にお願いをいたしたいと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【会長】

飯泉知事、ありがとうございます。それでは、早速本日の議事に入りたいと思います。事務局より、本日の議事について説明をお願いします。

【事務局】

前回、第4回検討会議において、基本計画・素案を提示させていただき、委員の皆様より、「オーロラビジョンの設置については、この度の整備と合わせて実施して欲しい」、また、「熱中症対策の観点から、観客席スタンドにおける屋根の設置は必要である」、などのご意見をいただきました。また、その後、2月22日から3月23日までの30日間、本・基本計画について、県民の皆様よりご意見を伺うパブリックコメントを実施いたしましたところ、21名の方より44件のご意見をいただきました。収容人数に関するご意見や、球場のボールパーク化に関するご意見、さらには、オーロラビジョンの設置に関するご意見や、プロ野球の誘致を期待するご意見などをいただいております、最も多かったのは屋根の設置に関するご意見でありました。これら、多くの方からいただきましたご意見を踏まえまして、お手元の冊子・資料1、基本計画・案を事務局として提示させていただきます。

それでは、この基本計画・案のP.9をお開きください。パブリックコメントにおいて、「暑

さ対策や快適利用の観点から、屋根の必要性を明記するべき」とのご意見をいただきましたことを踏まえ、安全・安心な利用に向けた課題の上から5番目、最後の項目に「観客席エリアに屋根が必要」という記述を追加しております。

P.12をお開きください。皆様からのご意見を踏まえまして、(5) その他設備の項の一番下の行に、「観客スタンドへの屋根」というフレーズを加えることとし、この度の内野スタンド・改築において屋根の設置に取り組むことといたします。

P.13をお開きください。今後の課題として「2 観客スタンドへの屋根設置の範囲について」を追記いたしました。先ほど申し上げましたように、屋根の設置に向けてしっかりと取り組むことといたしますが、この度の改築にあたっては、既存の照明設備を最大限活用することとしており、屋根の設置により照明設備の機能を損なうことがないよう、その範囲や形状について検討が必要となります。

お手元、参考資料・地方球場に設置されている観客スタンドの屋根を御覧ください。検討会議において、参考とすべき球場としてあがったセルラースタジアム那覇、レクザムボールパーク丸亀、また、パブリックコメントにおいて、「屋根の設置にあたって、イメージして欲しい球場」としてご意見をいただいた、こまちスタジアム、浜山公園野球場、タピックスタジアム名護の5球場について、屋根の設置状況がわかる写真を添付した資料としております。「1 セルラースタジアム那覇」や「3 こまちスタジアム」は、内野スタンド部分に照明塔を設けずに、屋根の前面に照明設備を設置し、比較的大きい屋根を設置していることが伺えるなど、各球場の置かれた状況ごとに、設置の範囲や形状が異なっております。オロナミンC球場における観客スタンドの屋根の設置についても、令和4年度より着手いたします基本設計の中で、先ほど申し上げた既設の照明設備など諸条件との兼ね合いについて、十分検討を行い、その設置の範囲や形状を決めてまいりたいと考えております。

お手元・資料1にお戻りください。引き続き、P.13でございます。屋根の設置と同様に、前回会議においてもご意見をいただいております、オーロラビジョンの設置に関してでございます。この度の整備に関しましては、内野スタンドの老朽化に対処するために、内野スタンドの全面改築を主たる整備方針として進めているところであり、基本計画における位置づけといたしましては、資料記載のとおり今後の課題として整理しているところであります。しかしながら、多くの委員の皆様からも、その必要性についてのご意見を頂戴しており、県といたしましては必要性の高い設備であると認識し、こちらも令和4年度より着手いたします基本設計の中で、検討を行って参りたいと考えております。

P.16をお開きください。基本計画の末尾に参考資料といたしまして、本計画策定に向けて様々な検討を行っていただきました、本検討会議の概要を記すことといたします。

P.18をお開きください。本検討会議において、委員の皆様よりいただいてまいりましたご意見を整理し、記載しております。基本計画について、前回ご提示いたしました素案からの変更点は以上となります。事務局といたしましては、本日の会議におきまして、本基本計画の最終的な取りまとめをお願いしたいと考えております。皆様、どうぞご論議のほ

ど、よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。資料1により、基本計画の取りまとめに向けた最終的な案の提示がありました。前回の会議において、特に議論がなされた観客スタンドの屋根の設置について、今、提示されている案に盛り込まれるなど、検討会議やパブリックコメントなどを経て、よりよいものになっているのではないかと思います。皆様いかがでしょうか。ご意見がある方は、ぜひ、ご発言をお願いいたします。

【会長】

皆様方、よろしいでしょうか。それでは、オロナミンC球場の整備に向けた基本計画について、本検討会議としては、お手元の「案」を了承することとしてよろしいでしょうか。

【委員一同】

異議なし。

【会長】

ありがとうございます。それでは本検討会議といたしましては、本日ご提案があった案を了承いたしますので、事務局におかれましては、基本計画策定に向けた手続きをお願いいたします。さて、12月に初会合を催してから、本日まで5回の会合を重ね、なんとか基本計画のとりまとめまでこぎ着けることができました。今後は、先ほど了承した基本計画に沿って、県においてオロナミンC球場の整備が進むこととなると思います。オロナミンC球場の在り方を検討するために立ち上がった、本検討会議は、今後の整備に向けた基本計画のとりまとめができたことをもって、本日でその役割を終えることとなります。せっかくの機会でありますので、皆様、今後のオロナミンC球場の整備に向けて期待することについて、最後に一言ずつ頂戴いたしたいと思います。

【委員】

私は長いこと野球に携わっており、そして私が野球をやっていたころは昭和38年や36年の頃なんです。蔵本球場しかありませんでした。後に、今のオロナミンC球場ができました。他に国体もあつたりといろいろあるんですけども、このように行政の方と球場の在り方検討会議というふうなものを設置していただいたことに対して非常に嬉しく思います。そして、いろいろな意見があると思うんですけども、今までは作ったから、さあ使えという風な雰囲気が多量なりともあつたと思っています。しかし、使用者サイドからするとやはりこのような検討会議で、いろいろな事を話して意見を交わして、新しいことを検討する場を作っていただいて、そういうことに対してまず感謝申し上げたいと思います。

それと、私どもとしましては、学童野球が全国持ち回りに変わるんです。今、東京の神宮球場でやってるんですけども、再来年から信越、そして東海、その次に四国ブロックで行うことになっているんですけどもその中でやはり妃殿下のご対応については行政と協力しないといけないと思います。また、オーロラビジョンが大会実施の条件になっているんですけども、徳島は3月23日の四国四県での協議の際には、愛媛県にお願いするしかないというふうなことで、徳島もそういうふうな施設が必要な時代が来ていると、この場でもひしひしと感じているところであり改めてお願い申し上げたいと思います。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

球場を改築するにあたって我々の意見を聞いていただけるということで、たくさんの方からこの会議に出席するに当たってはこういうことを要望してほしいというふうなことが私の所へ寄せられました。この場でたくさんの発言をいろいろとしましたが、理事長としての意見だけではなくて、たくさんの方の野球場に期待している、また徳島の野球の振興に期待されている方のご意見を踏まえて、また報道機関の方の意見も合わせて、当会議に参加させていただきました。沢山発言をさせていただきましたが、この基本計画を見ますと私の要望したことはほぼ叶えられているということで非常に有り難く思っており感謝したい気持ちでいっぱいです。今後、これを設計に移して工事されて行く中でいろんな問題が出てくると思うんですけど、またその都度、野球関係者の意見をちょっと聞いていただけたらとか、また良い物を作ろうというそういう姿勢をずっと持っていただいて夢がある、先程、杉本選手の話もされましたが、あのように活躍している選手達が徳島でその勇姿が見られる、そういう風な日が来ることを期待しています。この度は大変ありがとうございました。以上です。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

現地視察をさせていただいて、遠目から見せていただいたんですけども、かなりの老朽化、危険なところもありました。子どもたちを預かる身として、やはり安心、安全な所で子どもたちにプレーをさせてあげたいという思いが非常に強く感じました。この会議が立ち上がってから今日まで、非常にスピーディーな形で会議が進行していたこと非常に有り難いと思っております。子どもたちがこの球場、新しい球場で伸び伸びと楽しく活躍で

きるということを非常に楽しみにしております。今後、設計が順調に進んでいきますよう、よろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

飯泉知事を始め、美馬会長ありがとうございます。この様な機会をいただいて、プロ球団としてすごく背筋が伸びる思いとなりました。良い球場が出来るからには、また一段と頑張っ、お客さんもプロ野球球・NPB が出来るくらいのお客さんが入れるスタンドになるかも知れないということで、そこに負けないような集客をして徳島の野球を牽引出来るような組織団体として、野球だけではなく私生活も含めて模範となれるような球団でありたいと改めて思いました。球場に見合うようなスタンスの球団としても引き続き頑張っ、ていきたいと思ひます。また、球場が出来ることを楽しみにしております。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

この度はこの検討会議に参加させていただきまして本当にありがとうございました。また、皆様方、事務局の皆様方にも私どもの出させていただいた意見を的確にまとめていただきまして本当にありがとうございました。私ども、スポーツは産業の一つと位置づけて、昨年からはスポーツコミッションを立ち上げてですね、交流人口の増加をはじめ、地域産業の活性化も含めて資源のひとつとしてスポーツをとらえて頑張っ、ていこうと思っ、ております。この時にですね、こういうふうな野球場の整備をしていただいたということは非常に私共にとってもありがたいことございまして、これからも引き続き情報交換、協力をお願ひいたしましてですね、一緒になって地域を盛り上げていきたいと思っ、ておりますので引き続きよろしくお願ひいたします。皆様方にはどうもありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

非常に魅力のある来訪者が増えていくような施設ということで、取りまとめをいただい、て、非常に嬉しく思っ、ているところでございまして。ただ、気になっているのは駐車場でご

ざいます。課題のところに書いてはいただいているんですけども、大きな大会が重なりますと、駐車場がいっぱいということが年に何回かありますので、それでは利用されている方がかなり不便に考えられていることをごさいますので、野球場のことだけではないんですが、今後の課題に記載していただいておりますが、是非検討していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

まず短期間で我々の意見をまとめていただいた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。今後、基本設計、それから実施設計と進んでいくと思いますけど、その中でも今回のようなことはできないと思いますが、是非あの様々な方の意見を取り入れながら進んでいただければと思います。基本設計、実施設計というと設計という名が付きますので、すごく具体的な話になっていきますけど、本来であればこの計画という名のつく今の時点において、もう少し先程の意見にあった駐車場であったり、球場以外の周りのことをもう少し話できれば、本来はよかったのかなと思っております。特に徳島は蔵本球場とオロナミンC球場と2つ球場がありますので、この2球場の位置づけであるとか、将来ビジョンがもう少し話できればよかったなと思いますが、現地視察で老朽化を体感しますので、早く手を入れたいという気持ちも重々承知しておりますが、そういう視点も忘れないように今後、施設の整備を続けていただけたらと思います。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

今回で5回参加させていただきまして、その都度わかりやすい資料の作成であるとか、今回の計画のとりまとめをいただきましてありがとうございました。やはり、現地視察に行かせていただいて、目に見える形で劣化が進んでいる中で、そういうのが新しくなることによって、目に見える不安がなくなり、安心して皆さんがプレーや観戦、また運営に取り組むことが出来るというのは良かったなと思えました。そして、これから基本設計に入っていった具体的な計画になっていきますが、ここでこういう計画の中に盛り込まれている詳細なこと以外にですね、やはり文面に現れてこない、今回で5回会議が行われてきた中での、特に野球の業界に携わっている皆様、委員の皆様や、その背景にいらっしゃる実際にそこで活動されている皆様のそういう思いとか熱量とか困りごととかそういうところ

を、この場にいなかった設計者の方に引き継がれていくので、どうしても計画の文面だけでは共有しづらいところもあるかと思うんですけども、そのあたりを県の皆様にぜひうまく引き継いでいただいて、より良いものになっていくと良いなと思います。

【会長】

ありがとうございます。確かに実際に設計される方々にどうこれを引き継いでいくかというのは非常に大事な視点かと思います。

【委員】

今回の会議の中で、現地視察をした日に天井からこぶし大くらいのコンクリートの破片が落ちてきそうな穴が見えたりということで、やはり全面改築という形で進めていただいたことに非常に感謝しております。今回は計画案を短時間で見させていただいて、7ページのあたりに鳴門市の全体の地図なんかがあるんですけど、改めて俯瞰して見ますと、鳴門駅から2キロ弱位、徳島県民の感覚からすると歩いてどうかなっていう感覚ではあるんですけども、一方で現在、鳴門市では立地適正化計画という新しいまちづくり、いわゆる中心市街地、あるいはそれぞれの地域の核に公共交通ネットワークを構築する形で街を作っていく計画が進んでいるというのを聞いておりますので、地元の街づくりの計画の中でこの球場をどう位置づけるのか、そういったものを考えていくと駐車場問題なんかもまた新しい水素バスのシャトルバスみたいなそういう徳島県ならではのものを入れながら、いろいろな新しく楽しめるアイデアを今後、設計、施工していく上で考えていただくと、いろんな付随する問題っていうのも解決していくんじゃないかと思います。

【会長】

ありがとうございます。いろいろなご提案ありがとうございました。

【委員】

当初はいろいろな苦言も呈しましたが、本当に迅速に会議がまとまりまして非常に嬉しく思います。競技として以前もお話しましたが、昭和53年に阪急と日本ハムの公式戦がありました。それ以後はないと思います。徳島県も県民がたくさんプロで活躍しています。先ほど知事が言われましたけれども、杉本君がホームラン王になりました。徳島県出身者の前例では40数年前の、撫養高校の長池徳二さんまで遡ると思います。本当にNPBの試合を県内で見られるとそういう球場になるということで非常に嬉しく思っております。また、これから建築に関しても、設計に関してもまたいろいろご意見いただければ、また委員が言われましたように、また機会があれば意見を出したいと思います。本当にありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

私は女子選手という立場からお話をさせていただいたんですけど、そういった意見も取り入れていただいて本当に感謝しています。ありがとうございます。この貴重な会議に参加させていただいて、私自身もすごいいい経験になりました。それに今、女子の野球選手も増えてきているので、そういった選手にもいろんなトップレベルの選手のプレーを見せてあげたいので、そういった意味でも NPB の選手だったり、本当にレベルの高い選手をこの徳島で見れる機会を作っていただきたいなというふうに思います。そういった球場になれば本当に地元民の誇れる球場になると思うので、地元民が自信をもっていい球場だって言えるような球場にさせていただきたいなというふうに思います。本日はありがとうございました。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

思いかけず検討委員ということで参加させていただきました。いろいろ意見を聞いていただいてありがとうございました。資料作りも大変だったと思います。私は子供のころからすごく野球が好きでよく球場に見に行っておりました。それが高じて、今は運営というか公式記録員やアナウンスをさせていただいております。いつの間にか運営のほうになっていたのですが、本当に球場全体を見るとかそういうのに気が付かず、オロナミンC球場を視察した時に、こんなになっていたんだなってすごくショックでした。なので本当に改修、改築というような対応を早くスピードアップして行われることを望んでおります。本当に選手、また運営する側、また観客の方が、選手だけではなくて、球場に関わる全ての方が本当にどこをとっても素晴らしい球場になったなというような球場になること、選手にはよかったけど、観客には少し不満とかでなくて、本当に運営する側にも気持ちいいなという、費用面での折り合いもあるとは思いますが、本当に3者が満足できるような球場にさせていただいて、家族で野球を見に行ける、先程、委員も言われましたが女子野球、女子選手も増えてきているので、本当に家族で一緒に来られるという球場にさせていただいたら本当にありがたいなと思います。以上です。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

検討会議に短い間ですけれども参加させていただいて良かったなと思っております。私どもは、まさしく基本計画の一番最初にある、子どもたちに対しての良いものを作ろうという皆様方の思いが非常に感じ取られましたので、これからもスポーツ少年団の中で鍛えていきたいと思っております。是非わくわくするような野球場ができあがるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

この度は在り方検討会議に参加させていただきましてありがとうございました。この会議におきまして、それぞれの委員さんから多くの意見がでました。プレーする立場であったり、球場を利用する立場、またその試合を見に行かれる立場ということで、いろいろな立場の方から、いろいろな角度からご意見をいただいて、その中で短期間ではありましたが、いい方向で報告ができたかなというふうに思っております。それで、もう一つ迎える立場といますか、もてなす立場っていうところが今回あまり深掘りできなかったかなというふうに思っております。今後の話ということになろうかと思えます。先程お話にもございましたけれども、魅力ある試合、ソフト面での充実、また球場の使用頻度の向上、そういったものについても今後検討いただけたらと思っております。いずれにしても家族で、そして仲間で、楽しめる、そしてその球場を利用したことで思い出に残り、徳島に来たいなというふうなきっかけになっていただければいいなと思っております。球場を利用する人の経済効果といったものに反映されるような球場になっていただければいいと思っておりますので、今後の在り方についてまた楽しみにしておりますので是非よろしくお願いいたします。いずれにいたしましても今回ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。

皆様方から一人一人からお話を聞きまして、やはりオロナミンC球場にかける皆様方の熱量ってすごいなと今更ながら思ったところです。おそらく、これは県民の皆さんの声なんだろうなというふうに思います。今後の整備に向けて、それでは、飯泉知事、今日来ていただいておられますので皆様方の期待に応えて頂こうということで、一言お願いできたらと思います。よろしくお願いいたします。

【知事】

まずは、皆様方には本当にこのオロナミンC球場はもとよりではありますが野球に対す

る熱意といますか、このほとばしる情熱といったのを感じ取らせていただいたところがあります。私自身も野球世代でありますので昭和48年にオロナミンC球場が整備をされて以降、改修等で大きく整備されてきたもの、例えばスコアボード、また内野グラウンドをNPB使用に、あるいは照明をNPBのナイター水準となるようにと大きく3つあるわけですが、このグラウンドの整備が平成17年、そして照明が平成29年ということで、この2つは、私が知事になってから整備されたものになります。また委員から2つの野球場といったお話がありますが、実は徳島には3つありまして、インディゴソックスに使っていただいている阿南のアグリあなんスタジアムも作らせていただきました。今回、皆様方の様々なご提案、また老朽化、また野球が非常に徳島で熱くなっている、また日本全体でもということでもありますので、そうした想いをタイムリーに受け止め実現していきたいと思えます。ただ重要なのは今もご意見の中でありましたように、無用の長物を作ってしまうのはだめだということで、多くの皆様方が使っていただける、また集える場にするということは、当然ソフト面もしっかりと考えていかないといけないと思います。今日はとりまとめの回でありますので、少しこれまでの来し方を申し上げていきたいと思えます。平成17年にNPB使用にグラウンドを整備させていただきました。そしてこの時ナイターがまだ出来なかったのですが、NPBの公式戦を誘致しようでないかということで様々な全国の状況を調べさせていただきました。さらにはもうひとつインディゴソックスのように四国のアイランドリーグも出来上がったんですね。先程委員からもお話もあった、愛媛県の坊っちゃんスタジアムで、オールスターが開催されまして、NPBのコミッショナーが来られたんですね。そこで当時の愛媛県の知事の方から、ぜひ四国の他県の知事も来てほしいということで私も行かせていただきました。そして、コミッショナーに提言させていただいたのが、アメリカ大リーグは5軍制になっており、それを考えると日本では2軍制であり、一部ソフトバンク、あるいはジャイアンツの3軍であります。その当時ロッテを率いていたバレンタイン監督の方から、アグリあなんスタジアムがものすごく気に入っており、出来れば、インディゴソックスをロッテの3軍にしたいという話もありました。そして試合会場はアグリあなんスタジアムがいい、自分の故郷の球場によく似ているからと話をいただいたんですね。こうしたこともあって、コミッショナーにぜひ独立リーグの皆様方をNPBで3軍をもっていない球団の3軍に編入してもらいたいと伝えました。そうするとドラフト等についても非常にスムーズにいくのではないかと、相手方にもそれは良いアイデアですねと持ち帰っていただいたんですが、あっという間に消えてしまっていたんですね。ということで、バレンタイン監督もかなりがっかりをされまして、その後アメリカに帰られました。実はこうした苦い経験もあるところでもあります。また徳島によくおいでになる上田監督は今から20年前に県民環境部長として対応させていただいたときにも、実は監督として日ハム時代に鳴門でキャンプをしており、その際は雪が降り寒いんだよねとなかなか難しいよといったお話もいただいたとことでもあります。しかし昨年、良いのか悪いのか地球温暖化となって参りまして、逆に屋根の話も出てくることとなりましたので、そうした

ことを考えると、様々な意味でこの良い球場を作るということが、ソフト面についても非常にいいのではないかと、おそらく日本も独立リーグ、特にインディゴソックスはずっと複数名がドラフトにかかっているところでもありますし、今年も快進撃していただいておりますので、いずれは独立リーグもこれだけ数ができましたから、日本のNPBも3軍制になってくるのではないかと思います。そういうことであれば、先取りをして、徳島にしっかりとした球場を作っていく絶好の機会ではないかとこのように思っているところでもあります。そこで、今日いただいた意見について、ぜひ今後の課題として4つ書かれている中で、観客スタンドの屋根、こうした物については、今後温暖化がもっと厳しくなる訳でありますし、やはり雨の時に困るということもありますので、しっかりと対応したいと思っております。ただ事務局からも説明させていただいたように、照明を先に作ってしまったものですから、ここの兼ね合いの中で、様々な建築手法というものもあるものですから、建築士の2人に今回検討会議に入らせていただいているというのは、そうした理由もありました。今度は基本設計に入ってくわけでもありますので、多くの若手建築士の皆さん方に、こんな手法もある、あんな手法もあると他で使われていないものを導入していただくと非常にありがたいと考えております。また、スコアボードについては、先程委員からもありましたようにオーロラビジョンが早い段階であれば、全国大会が持ち回りになっている学童の野球大会が出来るんだけど、現状では坊っちゃんスタジアムということで愛媛県にお願いするしかないんだと、こうしたお話もありますし、やはり試合におけるリプレイというのが非常に人気が高いものでありますので、こうしたものについてもしっかりと対応について考えております。また駐車場の件についても先程委員からもお話がありました。確かにヴォルテイスがJ1に入った最初の年にはとてもとてもという時代もあった訳ではありますが、そうした意味でただ昨今どうしても地球温暖化ということがありますので、公共交通を使っただけあるいは、そうしたものに対しての工夫といったことも同時にしていかなければならないといった点を我々としても考えていければとこのように考えております。今日ここに取りまとめをいただいた点については委員さんの方からスピード感をもってというお話がありましたので、既に県議会の皆様方のご了解をいただき令和4年度の当初予算を補正をもうすでに行っておりまして基本設計の予算を組ませていただいております。直ちに今回いただいた意見を今度は基本設計へ移し変えていくという形になりますので、この基本計画の思いといったものがどう今度は基本設計に移されるのかそこはやや心配がありますよね。委員からもお話がありましたので、これはまた建築のお仲間の皆さん方と是非こんな手法、あんな手法があるということでお伝えをいただいて、最終的には事業者がきまってくる訳ではありますが、いずれそうした皆さん方の中から選ばれてくるものこのようにも考えておりますので、是非、基本計画から基本設計への移し渡しといった点これは建築士会あるいは事務所協会共にあげてですね、お伝えをいただくと非常にありがたいと思っております。そして最新の技術を活用して、そして非常に経費の面でも効果的なものができること、こうした点をぜひお願いをいたしたいと思っております。ということで、以上皆様方か

らいただいた意見、またこれまでの来し方、多くの皆様方の思いが詰まった今回の基本計画になったのではないかと考えておりますので、直ちに今度はこれを基本設計、そしてさらには具体的な球場そのオープンに向け、ただそれと同時にソフト面についてもしっかりと、NPBの皆様方にも少し今までの体制を変えていただかなければなかなか地方でいいものを作ってもそれだけの試合が行われるということがない場合が多くありますので、しっかりとそうしたものがかみ合い、また、そうしたソフト面についても、ここはしっかりと取り組みを進めて参ればと考えておりますので、ここは委員の皆様方にもよろしくお願いをしたいと思います。本当に皆様方熱意あふれるご検討ありがとうございました。いよいよこれを具現化に移す段階となります。しっかりと取り組みを進めて参ります。また今後ともよろしくお願いたします。

【会長】

飯泉知事ありがとうございました。ただいま非常に力強いお言葉をいただきまして、我々の今回検討してきた中での具現化に向けての夢が広がっていくという実感を今もっております。私自身も今回、非常に短期間ということで議論をできるだけ球場の方にとということで、ご指摘があったように、将来的なものであったり、球場周辺に関する周りの議論は十分尽くせられなかったところもごさいますけれども、しかしながらこうしてですね、球場がまず具現化をする運びとなって、これからまた将来に向けての様々な議論というのでも生まれてこようと、その辺も飯泉知事さんからも力強い今後の展望についても話をいただきました。本当に皆様方からのご協力によりまして、こんなに早くいいものが出来るとは私も最初はどうかと思っただけですが本当に委員の皆様方の知恵と事務局の皆様方からの誠実なまとめ方そういったもので助けられてここまでやってこれました。拙い司会等で皆様方には十分なことができたかどうか分かりませんが、これをもって私もこの会長の仕事を最後に終えることが出来ます。どうも皆様方ご協力ありがとうございました。お世話になりました。

【事務局】

皆様ありがとうございました。おかげさまで基本計画の取りまとめを行うことが出来ました。今後は先ほど知事からのコメントにごさいましたように、いよいよ令和4年度より基本設計に入って参ります。委員の皆様方からいただきました御意見をもとに、県民の皆様が愛される、わくわくするような良い球場となるよう、その具現化に努めて参りますので、今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願いたします。それでは、以上を持ちまして、徳島鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議、こちらの方のお開きとさせていただきます。皆様大変お世話になりました。